

TRIANGLE

2021 | vol.80

TAKE FREE

（自由に持ち帰ってください）



ふむふむメディカル・知っておきたい手術のはなし

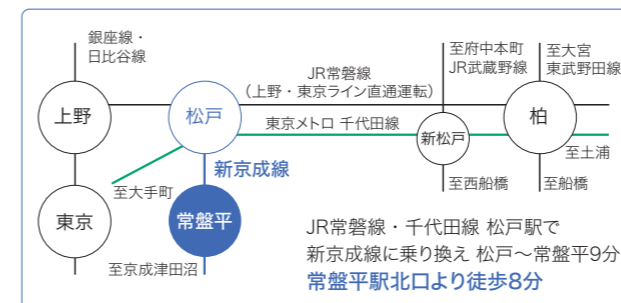
Contents ちばにし医心伝心／らくらくエクササイズ／Information

TRIANGLE

発行日：2021年4月
発行：千葉西総合病院

〒270-2251 千葉県松戸市金ヶ作107-1
TEL.047-384-8111
<http://www.chibanishi-hp.or.jp>

Access



- 無料バス運行中
- 1 千葉西 ⇄ 常盤平駅北口 往復バス
 - 2 千葉西 ⇄ 常盤平駅北口 ⇄ 小金原 循環バス
 - 3 千葉西 ⇄ 光ヶ丘団地 ⇄ 新柏駅 ⇄ 増尾駅 ⇄ 柏南部 循環バス
 - 4 千葉西 ⇄ 新八柱駅 ⇄ 牧の原団地 ⇄ 常盤平 循環バス



千葉西総合病院の基本理念

“生命だけは平等だ”を基本理念に、
誰もが最善の医療を受けられる社会をめざして

(生命を安心して預けられる病院、健康と生活を守る病院)

[基本方針]

- 1 年中無休・24時間オープンで救急を絶対断らない。
- 2 地域医療機関との連携を確立し、高度な医療を担います。
- 3 病める人の生命を尊厳し、倫理観をもって良質の医療を提供します。
- 4 安心と安全の医療、行って良かったと感動を与える病院をめざします。
- 5 チーム医療の推進で、患者様を癒しの場、家庭へ早く復帰できるよう支援します。



チーム医療で安心

ちばにしの手術のながれ

安心・安全な手術で患者様を回復へと導くために、千葉西総合病院では外来から検査、入院、手術、退院までの各プロセスにおいて、外科医や麻酔科医、看護師、臨床工学技士、薬剤師、管理栄養士など、あらゆる分野のプロが連携したチーム医療を行っています。今回はその基本的な流れをご紹介します。



1 外来受診

外来では病気の原因を探り、診断を行います。病状に関してご説明し、手術が必要と判断した場合は、患者様にご説明し、手術前の準備が始まります。

2 検査

必要に応じて、血液、レントゲン、超音波、MRI、CTなどの検査を行い、病気の診断や体の状態の把握を行います。

3 手術の決定

行った検査の結果やデータをもとに、患者様に合わせた手術を決定します。病気や、手術の必要性を説明するとともに、手術の詳細やリスクなどをお伝えします。

4 口腔ケア

手術によっては、口の中の細菌が気管や肺に入ってしまう可能性があります。感染症や合併症を防ぐため、ブラッシング指導や歯面清掃などの口腔ケアを行います。

5 服薬管理

患者様が処方中の薬を確認し、手術の前に中止すべき薬がないかを確認します。薬の説明や、相談などは入院後も続きます。

6 入院

手術の数日前に入院し、手術に備えます。手術後に早く回復できるように、術前から栄養管理やリハビリテーションが始まります。

7 麻酔科医による術前評価

さまざまな検査のデータをもとに、最適な麻酔方法や麻酔量を麻酔科医が決定します。手術決定前に行われる、麻酔に耐えられるかどうかの評価も麻酔科医が担当します。

8 手術室入室

看護師とともに手術室に入ります。手術台では体の状態をモニタリングできるように血圧計などを装着し、麻酔の準備が始まります。

9 手術

麻酔をかけて手術を始めます。入室から退室までの間に安全チェックが何重にも行われ、手術の進行状況や患者様の状態をチームで確認しながら手術が進みます。

10 全身管理

手術後は手術室内で体の状態が安定するのを確認します。全身管理が必要な場合には集中治療室に入室し、専属のスタッフが24時間体制で体の状態を観察します。

11 疼痛管理

手術後は、なるべく痛みが少なくなるように麻酔管理を行います。麻酔薬の進化によって、痛みの少ない状態ですぐにリハビリを行えるようになっています。

12 退院に向けた管理と指導

回復の状態を見ながら、栄養療法やリハビリテーションを進めます。退院後の食生活の指導も行い、早期の社会復帰を支援します。

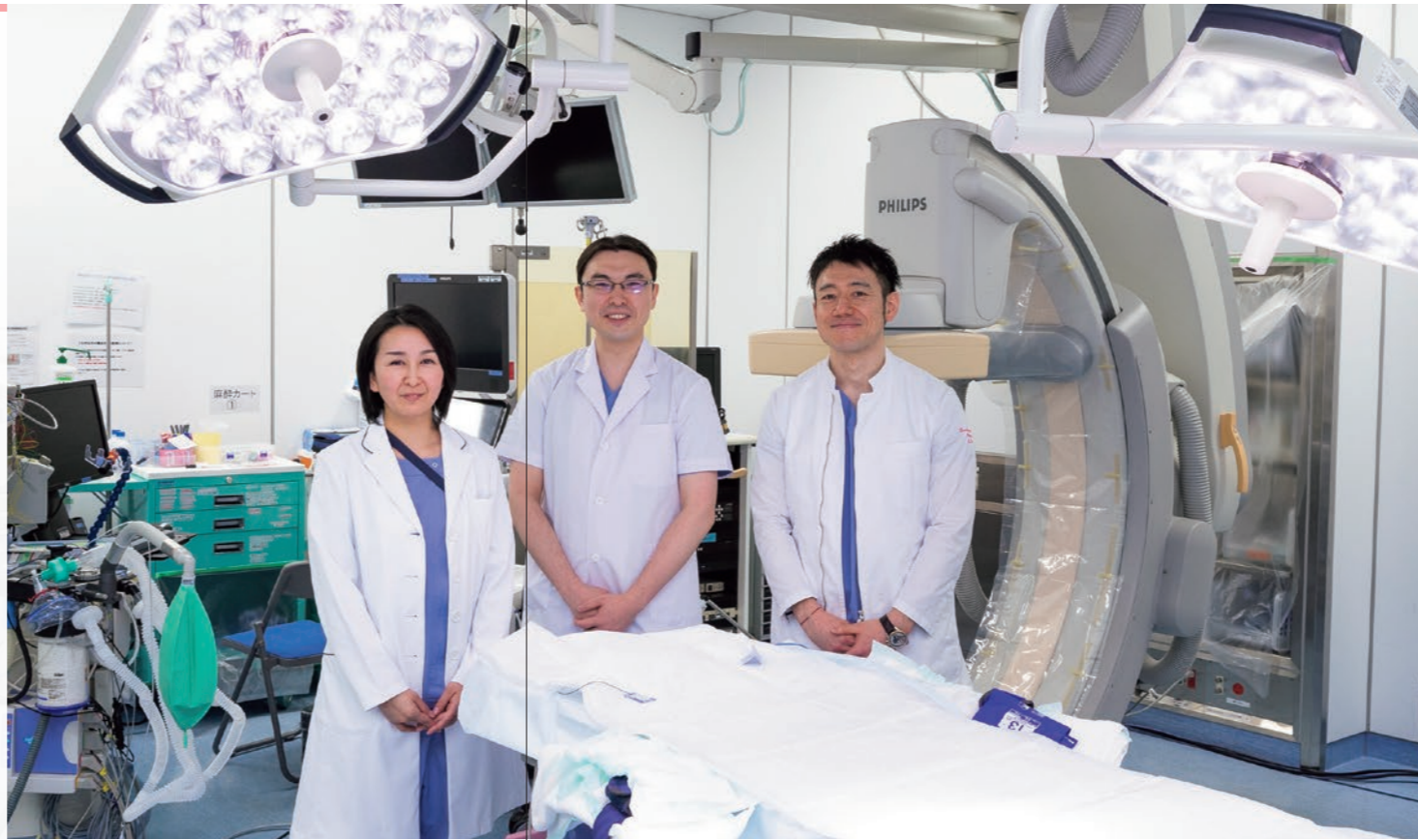
13 退院・通院

退院後の過ごし方や注意についてお伝えし、服薬の指導なども行います。必要に応じて、その後の経過観察やリハビリのための通院指導を行います。

※病気の種類や症状によって流れや内容は異なります。

確かな実績と経験をもとに 安心・安全な手術をチームで構築

医療の最前線で日夜奮闘する手術室チーム。今回は現場で活躍する心臓血管外科医、麻酔科医、看護師による座談会を開催し、手術に対する姿勢や心構え、治療体制やチームワークについてお話を聞きました。



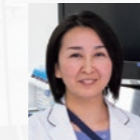
手術室チームプロフィール



伊藤雄二郎
[いとう・ゆうじろう]
心臓血管外科副部長/
大動脈センター長



關根一人
[せきね・かずと]
麻酔科主任部長



皆川加代子
[みながわ・かよこ]
手術室看護師長

当院の手術件数

総手術件数	6,283件
鏡視下手術件数 (腹腔鏡手術、胸腔鏡手術)	1,236件
ロボット手術件数	307件
緊急手術件数	957件

※上記の件数は、2019年1月1日～12月31日の件数

手術時のスタッフ配置(例)



千葉西総合病院の強みは？

關根 当院は、世界基準の医療機能評価であるJCI認証を取得している日本でも数少ない病院です。JCI認証とは、患者様の安全性や、提供している医療の質などが1200もの項目で審査され、高水準と認められた病院だけに付与される認証のこと。手術室においても、設けられている厳しい基準をクリアし、安全に手術を行えていることが評価されています。

伊藤 年間6000件という手術の多さも、患者様の安心材料となるのではないのでしょうか。当院では定例の手術に加えて、24時間、365日体制で緊急手術に対応しています。必然的に場数を踏むため、スタッフは経験豊富なエキスパートが大半を占めます。スタッフの実力は全国でもトップクラス

に位置すると自負しています。加えて、最新鋭の手術支援ロボット「ダヴィンチ」も2台導入しており、ロボット手術による低侵襲治療においても地域有数の実績があります。

皆川 スタッフがフレキシブルに対応していることも当院の大きな特徴の一つ。急患が多い当院では、イレギュラーな事態が起こることを当たり前としてスタッフが動いています。そのため、緊急手術に必要な検査があれば、すぐに検査ができるように融通し、患者様を待たせることなく手術を行うことができていると思います。予測できないことが多いため、大変ではありますが、その分だけスタッフ同士の絆も深いものとなっています。

手術中に心掛けていることは？

伊藤 手術というと執刀医ばかりが目立っていますが、大事なものは麻酔科医や看護師、臨床工学技士との連携。そのために私が心掛けているのはチームの雰囲気づくりです。何気ないコミュニケーションから、チームとして仕事しやすい空気がつくれると思っています。経験豊富で優秀な先生やスタッフが支えてくれるので、執刀医は余計なことを考えずに術野に没頭できます。それが手術の質をさらに高めてくれているのだと感じています。

患者様へのメッセージ

皆川 患者様が手術を安心して受けられるよう、些細なことでも気軽に共有できる手術チームの風通しのよさを大事にしながら、これからも全員で患者様に向き合っていきたいと思っています。

關根 麻酔科医は麻酔の管理はもちろん、異常や異変を察知するのにも大切な役割。全体を見渡せる位置に立ち、誰がどんな動きをしているのかを把握しながら、常に患者様のバイタルサインをモニターしています。あつという間に状況が悪化するケースもあるので、些細な変化を見逃さないように目を光らせています。

皆川 看護師も全体の進行を見ながら、必要になる可能性のあるものを先行して準備し、先生からの指示に素早く対応できるように努めています。手術が一番大切な

關根 手術で不安なことがあれば、誰にでも遠慮なく声をかけていたいただきたいと思います。患者様が健康な生活を取り戻せるようにチーム一丸でサポートしていきます。

伊藤 手術はその後の人生を左右する大きな出来事です。患者様に安心して手術をお任せいただけるよう、これからも一つひとつ確実に実績を積み重ねてまいります。どんなことでも気軽になったら気軽に外来へいらしてください。

2 新入職員を迎え入れました (2021年4月1日)

本年度は医師23名をはじめとした全197名の職員が新たに入職しました。
新しい時代を担う澆刺としたスタッフを多数迎え入れることができました。

3 リモート面会を実施しています

コロナ禍における面会形態として、リモート面会を実施しています。

ご家族様はご来院いただき、当院1階の入院支援室にてタブレット端末を通じて、入院患者様とお互いの顔を見ながらお話いただくことができます。事前予約制となっておりますので、ご利用をご希望の方は病棟スタッフまでお声掛けください。



1 心カテーテル治療件数で全国1位になりました

11年連続!

朝日新聞出版「手術数でわかるいい病院 2021」の手術件数ランキングで心カテーテル術の施術件数全国1位となりました。(2019年実績によるランキング) なお、当院は2011年版から11年連続で全国1位を継続しています。また、心臓手術件数で全国7位、直腸がんロボット手術件数で全国11位、前立腺がんロボット手術件数で全国22位にランクインしました。



ちばにし 医心伝心

最善の医療を目指して日々奮闘する千葉西総合病院のエキスパートたち。高い志を胸に成長する後輩、それを支える先輩、そんな彼らの“医のこころ”をお伝えします。

患者さんやご家族が抱える悩みや問題を気軽に話せる身近な相談相手でありたい

後輩

2019年入職
西山奈生 (にしやま・なお)



—2人の担当は?

原田 私たちMSW(メディカルソーシャルワーカー)は、社会福祉の立場から患者様やご家族のサポートを行っています。病気になると、入院費や、退院後の生活、介護のことなど、いくつもの悩みがついてまわります。私たちはそんな患者様の悩みを聞きながら、退院・転院先の調整や、福祉制度や介護サービスなどの紹介・提案を通して、患者様がよりよい生活を送れるように支援しています。

—仕事のやりがいは?

西山 MSWに求められるのは短い入院期間の中で患者様のよき相談相手になること。患者様に信頼していただき、「話を聞いてくれてありがとう」と言ってもらえることはMSWとしての大きな喜びです。

原田 病気との付き合い方や、患者様・ご家族の思い——。患者様へのご提案にはさまざまな要素が絡んでいきます。絶対の正解はないため葛藤の毎日ですが、担当した患者様やご家族から満足の声を聞けたときには、ホッとするとともに、大きなやりがいを感じます。

—お互いの仕事ぶりについて

西山 原田先輩は短い時間の中で、患者様やご家族が求めることを把握し、患者様に寄り添った提案をされています。私も先輩のようにしっかりと知識に裏付けられた提案ができるよう、最新の医療福祉制度や専門知識をどんどん吸収していきたいです。

原田 私たちの仕事は患者様の今後を大きく左右することもあるため、知識や経験が浅い新人のときには尻込みしてしまいがちです。そんな中、西山さんはこまめなコミュニケーションで経験をカバーしつつ、分からないことは素直に聞いて吸収できる頼もしい後輩です。逃げずに患者様と向き合おうとする姿勢にはいつも感心させられています。

—患者様に向けて

西山 病気まつわる不安や心配事があれば、一人で悩まず、お気軽にご相談ください。関係各所と連携を図りながら、患者様・ご家族にとって最良のご提案をさせていただきます。

原田 患者様やご家族の思いを受け止め、誠実な提案をすることが私たちの使命です。少しでも気になることや疑問などがあれば、いつでも気軽にお声がけください。

先輩

2016年入職
原田かおり (はらだ・かおり)



看護部長就任のご挨拶

この度、2021年4月1日をもちまして看護部長に就任いたしました。

2001年4月の入職以降、当院にてさまざまな部署、診療科を経験した後2017年より副看護部長を務め本日に至ります。

当院は1990年に408床の病院として開院し、「生命だけは平等だ」を基本理念に、地域に貢献できる病院を目指し運営をして参りました。

現在、新型コロナウイルス対策として、面会等の制限を設けており、患者様、ご家族様のご不安も大きいことかと思えます。そうしたお気持ちに寄り添い、少しでも不安を軽減していただくために、看護師の果たすべき役割は重要と言えます。

患者様、ご家族様が安心して治療が受けられる病院、「この病院を選んだよかった」と思ってもらえる病院づくりを目標とし、努力して参ります。

今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



千葉西総合病院
看護部長

小林 裕子

♪やってみよう♪
らくらく
エクササイズ

誤嚥予防の口腔体操

マスクをしているとついつい無表情になり、顔の筋肉を使わなくなりがちです。口の周りの筋肉が衰えると、スムーズな咀嚼や飲み込みに影響することも。口腔体操で口の周りの筋肉を鍛えましょう!

早口言葉もおすすめです!

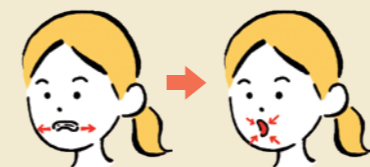


言語聴覚士
高橋志織 長谷川侑里

トウキョウトツキョキョカキョク!

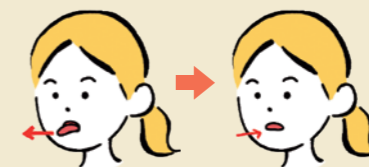
EXERCISE 1 唇の体操

唇を「イー」と横に引き、「ウー」と前に突き出します。



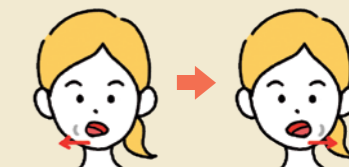
EXERCISE 2 舌の体操①

舌をぐっと前に突き出してから、元に戻します。



EXERCISE 3 舌の体操②

頬の内側を押すように、舌を左右に動かします。



※それぞれ10回ずつ行いましょう